

セッション名	セッションテーマ	登録番号	演題番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
ワークショップ1	中井久夫の臨床	1015	W1-1	いじめられっ子の中井久夫先生 - その精神療法の特質の病跡学的考察 -	10月20日（金）	10:25～11:15	B会場
		1031	W1-2	中井久夫研究（1）			
ワークショップ2	精神病理学のこれから	1016	W2-1	21世紀における精神病理学の可能性	10月20日（金）	11:15～12:30	B会場
		1046	W2-2	PTMF時代の精神病理学に期待されるもの			
		1012	W2-3	若手・専攻医に対する精神病理学教育の方法論を考える			
ワークショップ3	Jaspersと了解/理解	1027	W3-1	ヤスバースの「了解概念」と「現象学的還元」	10月20日（金）	16:00～16:50	B会場
		1013	W3-2	精神病理学と解釈学			
ワークショップ4	Schneiderと構造分析	1022	W4-1	『臨床精神病理学』の二源泉 -クルト・シュナイダーをビルンバウム、シエラーから眺める景色-	10月20日（金）	16:50～17:40	B会場
		1023	W4-2	構造分析(Birnbaum)の有用性を検討する			
ワークショップ5	木村敏の「あいだ」	1030	W5-1	生命と自然から愛と歴史へー木村敏の「あいだ」概念について	10月20日（金）	17:40～18:30	B会場
		1009	W5-2	臨床哲学「あいだの気」療法と科学的精神医学・操作的診断基準			
ワークショップ6	中動態	1002	W6-1	中動態的自己概念の展開	10月21日（土）	10:20～11:10	B会場
		1034	W6-2	世界と自己の構成について —中動態的プロセスの観点からの考察—			
一般演題1	統合失調症：症例	1029	O1-1	加害者家族というトラウマを抱えた男性統合失調症患者に風景構成法を施行した一例	10月19日（木）	16:05～17:20	B会場
		1011	O1-2	単純型統合失調症と診断することで、理解と対応がはっきりしてきた、措置入院患者の精神病理学的な考察			
		1033	O1-3	症例報告：アンドロイドを名乗る患者の治療から、統合失調症治療の理論的基礎を考察する			
一般演題2	神経発達症を再考する	1006	O2-1	神経症の不安、ASDの不安—主体の生成という視点から	10月20日（金）	9:30～10:20	A会場
		1017	O2-2	双極性障害の顕現と潜伏—ゲシュタルト変換するADHD—			
一般演題3	症状と診断	1003	O3-1	うつにみられる過去志向性：後悔について	10月20日（金）	10:25～11:40	C会場
		1004	O3-2	思考形式の障害あるいは注意・集中の障害と、それでは説明困難な言動			
		1014	O3-3	内因性精神病における長期経過研究の「経過の精神病理学」への寄与について			
一般演題4	強迫症	1024	O4-1	強迫症と統合失調症の併存例の発症契機と洞察に関する考察	10月20日（金）	11:40～12:30	C会場
		1036	O4-2	中井久夫における強迫症の試論的検討			
一般演題5	妄想の周辺	1025	O5-1	頭皮・頭髮の異常感覚を主訴とするセネストパシー	10月20日（金）	16:05～16:55	C会場
		1042	O5-2	自己臭症再訪—日本の研究の軌跡と国際的動向—			
一般演題6	現代社会と症例	1044	O6-1	「ガチャ」による課金が問題となったゲーム行動症の青年例	10月20日（金）	16:55～18:10	C会場
		1019	O6-2	ナルシズムの病理と異邦人であること —抑うつ、不安を呈する外国人事例をもとに—			
		1047	O6-3	COVID-19感染をストレスとして精神科疾患を発症した患者の臨床的特徴			
一般演題7	心と診断	1001	O7-1	精神医学が扱う「心」とは何か？	10月21日（土）	11:10～12:00	B会場
		1049	O7-2	幾多の相乗的不遇を抱えた女性の精神科診断 ～精神医学ができること、人はどうやって育つのか～			

セッション名	セッションテーマ	登録番号	演題番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
一般演題8	統合失調症：成因論	1037	<b>O8-1</b>	François TosquellesによるHeideggerに依拠した主体生成論	10月21日（土）	15:45～17:00	B会場
		1005	<b>O8-2</b>	語られなかった緊張病 ―進化精神医学の視点より			
		1018	<b>O8-3</b>	どのような事態が“統合失調症性”なのだろうか			
一般演題9	ヒステリー論再考	1041	<b>O9-1</b>	シャルル・ラセグとヒステリー性拒食 - 精神医学における生氣論の遺産	10月21日（土）	17:00～17:50	B会場
		1040	<b>O9-2</b>	目的反応の歴史的背景と今後の展望			
一般演題10	気質と特性	1021	<b>O10-1</b>	分裂気質（クレッチマー）と敏感関係妄想と自閉症スペクトラム	10月21日（土）	9:30～10:20	C会場
		1050	<b>O10-2</b>	てんかんと宗教：「説教臭さ」の病理			
一般演題11	治療関係	1028	<b>O11-1</b>	治療関係におけるparticipantな相互作用について	10月21日（土）	10:20～11:10	C会場
		1038	<b>O11-2</b>	考えの違いを尊重する関係性の治療的意義			
一般演題12	精神病理とECT	1045	<b>O12-1</b>	中脳黒質変性所見を示す高齢期うつ病症例の臨床的分類と修正型電気けいれん療法の可能性について	10月21日（土）	11:10～12:00	C会場
		1035	<b>O12-2</b>	器質力動論に照らしてECTを考える試論			
一般演題13	家族と精神病理	1032	<b>O13-1</b>	精神科臨床における家族システムの考察	10月21日（土）	15:45～17:00	C会場
		1048	<b>O13-2</b>	夫婦におけるビジネスとノモスの精神病理			
		1039	<b>O13-3</b>	心的外傷（に起因する病的状態）を精神病理学的に理解するための試み			
一般演題14	病歴学	1020	<b>O14-1</b>	病歴記録の学術的価値に関する考察 ―統合失調症に罹患した名家当主の生涯を巡って―	10月21日（土）	17:00～17:50	C会場
		1026	<b>O14-2</b>	チャイコフスキーの人生と楽曲にみる「懐かしさ」の病理			